

2016-B		VI9-B			
拠出金・基金 の名称		ASEAN事務局拠出金			
種 別		☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】東南アジア諸国連合（ASEAN）					
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 途上国のフードバリューチェーンの構築等のため、農業の生産性向上に係る国内外の研修・専門家の派遣、緊急支援に要する米備蓄、食品加工・流通データの整備、途上国の大学と連携した人材育成の実施。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成28年度	255,822	2,132	－	1米ドル=120円	100%
平成27年度	287,193	2,611	－	1米ドル=110円	100%
平成26年度	226,397	2,334	－	1米ドル= 97円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 アセアン事務局は、我が国の食料安全保障の確保や経済的パートナーとして極めて重視する東南アジア諸国の経済発展や経済統合に係る取組、さらに統一的な対外経済活動を行う国際機関である。我が国を含むアジア地域の安定と経済発展の促進には、個々の国へのアプローチに加え、アセアンの枠組みを活用し、広域的な協力を推進していくことが不可欠である。 我が国は、アジア地域の食料安全保障の確保、農分野の発展に向け、アセアン諸国等の農民の能力強化のための研修や専門家の派遣、ASEAN+3緊急米備蓄（APTERR）、アセアン食料安全保障情報システム（AFSIS）及びアセアン諸国の大学と連携した人材育成事業を実施している。 我が国は、ASEAN事務局が、これら事業のパートナーとして、高い組織力、機能、支援能力・努力を発揮し、域内のニーズや課題の発掘などを通じ、効果的な成果を上げていることを高く評価している。特に、人材育成において、研修成果を踏まえて地域でのリーダーとして活動する者も出るなど、普及効果が現れてきている。					
【備考】					